

たかおか

市議会 だより

No.48 9月定例会号
平成29年(2017年)11月1日発行

9月定例会のあらまし	2P
議決結果一覧	5P
代表質問	6P
個別質問	7P
委員会の動き	12P

新高岡駅をご利用ください!



「双子の幹」(高岡「いいね」フォトコンテスト応募作品) 撮影:網濱 幹夫

編集 ■ 広報広聴委員会
発行 ■ 富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



市議会ホームページから、過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。
本会議録画映像をパソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

高岡市議会

Q検索



補正予算・条例・平成28年度決算など 20議案を可決・同意・認定

代表・個別質問に12人が登壇

9月定例会は1日に開会し、29日に閉会しました。市長から平成29年度一般会計補正予算や平成28年度決算をはじめ16議案が、議員から5議案が提出され、うち20議案を可決・同意・認定しました。

今定例会では、代表質問に1人会派、個別質問に11人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・同意・認定した 主な議案等

条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正

法定事務以外において個人番号（マイナンバー）を利用した情報連携を行うため、新たに独自利用事務を追加するもの。また、それに伴い、個人情報保護条例の規定の整備を行うもの。

（追加する独自利用事務）

- ・重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する事務
- ・地域生活支援事業に関する事務

・子ども医療費の助成に関する事務

・ひとり親家庭等に対する医療費の助成に関する事務

・市有住宅（大滝宿舍）の管理に関する事務

コミュニケーションセンター条例の一部改正

伏木コミュニケーションセンターに指定管理者制度を導入することに伴い、条文の整備を行うもの。

（施行期日）

平成30年4月1日

道の駅条例の一部改正

新たに道の駅雨晴を設置するもの。

（1）名称 道の駅雨晴

（2）位置 太田24番地74

（3）管理方法 指定管理者による管理

（4）利用時間 9時～19時

（原則年中無休）



大勢の来場者でにぎわう 福岡町つくりもんまつり

（5）利用料金

多目的ルーム

970円～2990円

（利用時間帯により料金は異なる）

マーケットスペース

1㎡につき日額100円

火災予防条例の一部改正

消防法令に関する重大な違反のある建物について、その内容を公表することができるものと定めるもの。

（1）対象建物

不特定多数の者、一人で避難することが困難な者が利用する建物（特定防火対象物）

（2）対象となる違反内容

消防法令上義務付けられている屋内消火栓設備、スプ

リンクラー設備、自動火災報知機がそれぞれ一切設置されていないもの

（3）公表の内容

建物の名称、違反の内容等

（4）公表の方法

ホームページ上で公表

（施行期日）

平成30年4月1日

人事

人権擁護委員

松浦 士朗氏（再任）

（下麻生伸町）

議員提出議案

条例

高岡市議会基本条例の一部改正

本会議における一般質問の名称を次のように改める。

・個別質問

↓一括質問・一括答弁方式による一般質問

・総括質問

↓一問一答方式による一般質問

（施行期日）

平成29年11月20日

高岡市議会委員会条例の一部改正

現在の4常任委員会を3常任委員会に再編し、委員定数及びその所管を次のように改める。

・総務文教常任委員会
委員定数 9人

所管 市長政策部、総務部、会計課、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員等

・民生病院常任委員会
委員定数 9人

所管 市民生活部、福祉保健部、社会福祉事務所、市民病院、消防本部

・産業建設常任委員会（新設）
委員定数 9人

所管 産業振興部、都市創造部、福岡総合行政センター、上下水道局、農業委員会

（施行期日）

平成29年11月20日

商店街の活性化に関する条例（新規）

事業者や商店会をはじめ、商店会団体、経済関係団体等の役割を明確にすることで、商店街の活性化に向け、連携して推進するといった認識を固り、地域経済の発展と市民生活の向上を目的とするもの。

※5ページ参照

意見書（要旨）

道路整備予算の総額確保と道路財特法による補助率の

嵩上げ措置の継続に関する意見書

住民生活の安心・安全の確保や地域経済の活性化において、道路整備予算の総額を確保することが必要であるが、道路財特法の規定による補助率等の嵩上げ措置が平成29年度で切れて、道路整備の補助率等が30年度から低減される。よって、道路整備のための安定的な財源を確保するよう、次の事項の実現を強く要望する。

- 一 必要な道路整備予算の総額を確保すること。
- 二 道路財特法の補助率等の嵩上げ措置については、30年度以降も継続すること。
- 三 さらに、地方創生推進のために真に必要な道路整備については、補助率等を拡充すること。

討 論 要 旨

平成28年度決算

○日本共産党《下水道事業会計、一般会計、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の各事業会計：反対》

下水道事業では、県内各市において、下水道使用料の負担軽減のための財政努力を行っているが、一般会計繰入金と平準化債を合わせた金額

をみると、市民一人当たりでは、本市は平成28年度決算で1万9千円台だが、県内平均では2万4千円台となっている。財政努力を行えば、下水道使用料の引き下げは十分に可能であり、今後の抜本的改善を求める。

一般会計では、高岡駅周辺整備事業や北陸新幹線対策事業、総合体育館などの大型事業の推進の結果、28年度末の市債残高が1127億円に膨らみ、市の財政を厳しく圧迫している。大型事業の事業費の徹底した費用対効果の検証、事業実施に当たっての民意の反映に十分配慮すべきである。また、市債発行への一層厳格な対応に留意し、利払いの徹底した節減に努めるべきである。その他、公共事業の推進に当たっては、地元企業の振興と地元雇用の確保など、地域経済振興の視点を堅持するようお願いしたい。海外視察は、議会費の節減のために廃止すべきである。

国民健康保険事業では、全国平均と比較して少ない一般会計からの財政支援により、国保税の引き下げは可能であり、財政努力を強く要望する。

介護保険事業では、介護保険法が成立して17年が経過し、介護離職者は毎年10万人に及

び、相次ぐ負担増や給付抑制が過酷な家族介護に追い打ちをかけている。このような中で、介護保険料の重い負担を軽減するための市独自の財政努力の抜本的強化を求める。国庫負担金の引き上げを国に強く求めるべきである。

後期高齢者医療事業では、75歳以上の高齢者を別枠の制度に追いやる制度の廃止と保険料負担の軽減を強く求める。評価すべき施策としては、浸水対策の取り組み、認知症疾患医療センターの設置に向けた努力、高岡御車山会館設置の取り組み、通学路の安全対策の推進などを挙げる。

○自民同志会

《全会計：賛成》

水道事業では、給水収益の大幅な伸びが見込まれない中、「良質な水の安定供給と地震等の災害に強い水道施設の構築」に努めたことを評価する。新たに策定した上下水道ビジョンに掲げる「安全」「強靱」「持続」の3つの基本方針に基づく事業施策を推進するとともに、経費の節減や技術の継承によって、効率的・効果的な事業運営に努めることを要望する。

下水道事業では、公共用水域の水質保全や未普及地域の解消を図る中、雨水幹線整備

など浸水対策にも鋭意取り組んだ。また、四屋浄化センター散気装置改築工事に着手したほか、住吉ポンプ場管理棟耐震補強工事に取り組んだことを評価する。

市民病院事業では、地域がん診療連携拠点病院として包括的がん医療センターを開設し、併せて、外来化学療法室を拡充したことを評価する。今後も経営の安定に関する施策に取り組み、地域に根差した選ばれる病院となるよう努めることを要望する。

一般会計では、北陸新幹線開業2年目となる平成28年度は、「未来高岡」総合戦略に定めた4つのテーマを重点的に進め、29年度からスタートする総合計画・第3次基本計画を効果的に展開するため、



「恋する灯台」に認定 岩崎ノ鼻灯台

その先導的な取り組みについて実施した。特に、地域産業の競争力強化や定住促進に努めたほか、安心して子どもを育てられる環境づくりやコンパクト・アンド・ネットワーの仕組みによる都市構造の確立に向けた取り組みなど、様々な施策・事業に取り組んだことを評価する。

今後は、少子高齢化に伴う扶助費等の義務的経費の負担に加え、大型事業に要する投資的経費や、公共施設の老朽化・維持管理対策に向けた経費等の増加が見込まれる。引き続き、不断の姿勢をもって行財政改革に取り組むとともに、施策・事業の実施に当たっては、加速する地方創生の動きにも的確に対応できるよう、効率的・効果的な行財政運営を推進するよう要望する。

○社民党議員団

《全会計：賛成》

上下水道事業では、水需要が減少する中、安全で安心で良質な水の安定供給と地震などの災害に強い上下水道施設の構築に向けて取り組んだことを評価したい。また、水道料金の引き下げに向け、引き続き、県の受水単価引き下げに努めるなどの経営努力を要望する。また、職員の能力や技術の向上に努めている

6月定例会後～9月定例会前

- 6月19日 広報広聴委員会
- 23日 新幹線・公共交通対策特別委員会
- 7月7日 広報広聴委員会
- 11日 建設水道常任委員会
民生病院常任委員会
- 12日 総務文教常任委員会
経済消防常任委員会
- 14日 港湾対策特別委員会
- 18日～19日 建設水道常任委員会行政視察
- 18日～20日 総務文教常任委員会行政視察
民生病院常任委員会行政視察
- 20日～21日 経済消防常任委員会行政視察
- 26日 代表者会議
- 31日 議会運営委員会
歴史文化・広域観光対策特別委員会
- 8月2日～3日 港湾対策特別委員会行政視察
- 3日～4日 歴史文化・広域観光対策特別委員会行政視察
- 7日～8日 新幹線・公共交通対策特別委員会行政視察
- 24日 議会運営委員会
代表者会議
- 28日 正副常任委員長会議

9月定例会

- 9月1日 議員協議会
本会議(提案理由説明)
議案説明会
- 5日 本会議(代表質問)
- 7日 議会運営委員会
本会議(個別質問)
- 8日 本会議(個別質問)
水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 12日 代表者会議
議会運営委員会
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
- 13日 建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
委員長会議
- 19日 議会運営委員会
議員協議会
本会議(議案など議決)
経済消防常任委員会
広報広聴委員会
- 20日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 21日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 22日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 27日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 29日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
代表者会議
本会議(決算の認定など議決)

ことを評価するが、これ以上の職員削減は限界であり、熟練職員による技術の伝承を図るよう人員の確保を含めて要望する。

市民病院事業では、診療報酬の実質マイナス改定などの大変厳しい状況下で、医業収益が増取となり、純損失が平成27年度と比べ減少していることを評価する。引き続き、高岡医療圏における中核的な基幹病院としての役割を果たし、市民が安心して医療が受けられる体制づくりと地域連携を進めるよう要望する。

一般会計の歳入面では、収納率向上対策により、市税収納率と収入未済額が改善されたことは評価する。一方、個人市民税や固定資産税の増収などで歳入は増加しているが、

地方交付税の引き下げが予想されることから、今後も自主財源の確保に努めてもらいたい。市債については、発行額と残高がともに27年度末より増加していることから、発行の抑制と残高を減らす努力を要望する。歳出面では、扶助費などの義務的経費や野村小学校体育館の改築工事などでの投資的経費が増加している。

これまでに大型事業などの実施には、優先度などを十分に検討し、効率的・効果的でスピード感のある行財政運営を推進し、市民への説明と理解を得て行うことを要望してきた。また、10年間で一般会計の総人件費を32億円以上削減してきたにもかかわらず、厳しい財政状況が一向に改善されていないことから、何が問題な

のか検証してもらいたい。市民生活を最優先に着実に市政を推進するとともに、人口減少対策に戦略的に取り組むことを強く要望する。

○公明党

《全会計：賛成》

水道事業では、配水状況で総配水量、有収水量が共に減少する中、普及率は平成27年度と同率を示し、経営状況では27年度から約3割増の増益となる6億9500万円余りの純利益を生じている。28年度においても老朽配水管などの計画的な更新、基幹管路の耐震補強工事に努め、市民生活に欠かせない重要インフラとして良質な水の安定供給と地震等の災害に強い水道施設

の構築に努めてきたことを評価する。今後、財源確保と

安全安心な水の安定供給を望む。

市民病院事業では、純損失が27年度に比べ5割以上減となっている。こうした中、包括的がん医療センターの開設や外来化学療法室の拡充を実施し、地域がん診療連携拠点病院としてがん医療をさらに強化したことを評価する。今後も安定した経営に努めることを要望する。

一般会計や特別会計では、「未来高岡」総合戦略を推進し、新しい価値や文化、産業を創出し、市民の暮らしの質や豊かさを高めていく「文化創造都市高岡」の実現に向けた施策に取り組んだ。こうした中、市税納付お知らせセンターによる電話催告等の収納率向上対策に取り組んだことを評価

する。また、義務的経費が増加し財政構造の硬直化が進んでいくことがうかがえる。

こうした中、予算の執行状況においては、高岡型地域福祉ネットワーク「あつかり福祉ネット」が市内全27地区に拡大されたことや、地域密着型サービス施設の整備等に対する助成など高齢者福祉の充実を図ったこと、子ども未来応援事業としての整備計画の策定や少人数教育の充実を図ったことなどを評価する。市政運営に当たっては、市税等の自主財源確保の強化と施策・事業のより効率的・効果的な実施によって、どこまでも市民生活に資することを目的とした予算執行に、引き続き取り組み、持続可能な行財政運営の推進を要望する。

議 決 結 果 一 覧 表 (平成29年9月定例会)

[議 案]

番号	件 名	結果
第63号	平成29年度高岡市一般会計補正予算(第2号)	可決
第64号	平成29年度高岡市工業団地造成事業会計補正予算(第1号)	可決
第65号	平成29年度高岡市介護保険事業会計補正予算(第1号)	可決
第66号	平成29年度高岡市高岡市民病院事業会計補正予算(第1号)	可決
第67号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正 附則「高岡市個人情報保護条例の一部改正」	可決
第68号	コミュニティセンター条例の一部改正	可決
第69号	道の駅条例の一部改正	可決
第70号	市道に設ける案内標識等の寸法に関する条例の一部改正	可決
第71号	市営住宅条例の一部改正	可決
第72号	火災予防条例の一部改正	可決
第73号	平成28年度高岡市水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決
第74号	平成28年度高岡市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決
第75号	平成28年度高岡市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決
第76号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件	同意

[議員提出議案]

番号	件 名	結果
第10号	高岡市議会基本条例の一部改正	可決
第11号	高岡市議会委員会条例の一部改正	可決
第12号	商店街の活性化に関する条例	可決
第13号	道路整備予算の総額確保と道路財特法による補助率の嵩上げ措置の継続に関する意見書	可決
第14号	核兵器禁止条約への参加を求める意見書	否決

[認 定]

番号	件 名	結果
第1号	決算の認定について (平成28年度高岡市高岡市民病院事業会計決算) (平成28年度高岡市水道事業会計決算) (平成28年度高岡市工業用水道事業会計決算) (平成28年度高岡市簡易水道事業会計決算) (平成28年度高岡市下水道事業会計決算)	認定
第2号	決算の認定について (平成28年度高岡市一般会計歳入歳出決算) (平成28年度高岡市国民健康保険事業会計歳入歳出決算) (平成28年度高岡市荻布奨学金事業会計歳入歳出決算) (平成28年度高岡市駐車場事業会計歳入歳出決算) (平成28年度高岡市工業団地造成事業会計歳入歳出決算) (平成28年度高岡市介護保険事業会計歳入歳出決算) (平成28年度高岡市後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算)	認定

[議員別賛否一覧] (賛否が分かれた議案等のみ)

○…賛成 ×…反対 ※…議長は表決に加わりません。

議案番号	議員名	石須	横田	藪中	中川	坂林	野上	吉田	本田	福井	永森	金森	曾田	上田	盤若	四十九	狩野	水口	高島	金平	樋詰	青木	大井	荒木	館	島	山
		大雄	誠二	一夫	加津代	永喜	達夫	健太郎	利麻	直樹	茂	一郎	康司	武	進二	清治	安郎	清志	義一	直巳	和子	紘	正樹	泰行	勇将	起也	茂敏
議案 第67号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案 第14号		○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
認定 第1号	下水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
認定 第2号	一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者医療事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

議員提案により、「高岡市商店街の活性化に関する条例」が平成29年9月19日に制定されました

目 的 (第1条)

商店街の活性化に関する基本理念を定め、事業者、商店会、商店会団体、経済関係団体、建物所有者及び市の責務を明らかにすることで、商店街の活性化を図り、市民生活の向上を目的とします。

基本理念 (第3条)

事業者及び商店会が、創意工夫と自助努力により、商店街の活性化に主導的な役割を担うとともに、事業者、商店会、商店会団体、経済関係団体、建物所有者等及び市が相互に連携し、市民の協力のもと、推進します。

それぞれの役割 (第4条、第11条)

事業者の皆さん

商店会への加入や、商店街の活性化に関する事業への参加、商店街の維持管理に対し、応分の負担に努めます。

商店会

魅力ある商店街の形成や市民からの意見等の情報収集・提供、組織の基盤強化に努めます。

商店会団体

商店会の育成に関する調査・研究、課題解決や事業者の商店会加入についての指導・支援に努めます。

経済関係団体

事業者への経営指導や経営に関する情報収集・提供、事業者及び商店会と共同した事業の実施に努めます。

建物所有者の皆さん

所有不動産を商店街の活性化のために活用し、不動産を貸し付けている事業者に対し、商店会への加入の支援に努めます。

大型店

地域で果たす役割や社会的影響を認識し、商店街の活性化に関する取り組みへの協力を努めます。

市民の皆さん

商店街の活性化が地域の発展や市民生活の向上に寄与することを認識し、取り組みへの協力を努めます。

高岡市

国・県と連携を図りながら、商店街の活性化に必要な施策を推進します。

代表質問

今定例会では、自民同志会の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



自民同志会
狩野 安郎

3期目の高岡市政を迎え

問 今後の高岡市政の力強い決意は。

市長 新たな総合計画にのっとり、本市の持つ個性とポテンシャルを存分に活かしながら、市民一人ひとりにとって住みやすく、誇りをもって創造的に挑戦していくまち、「市民創造都市高岡」の実現に向けて全力を尽くしていきたい。そのため、「まち」「ひと」「しごと」づくりに重点を置き、「都市機能の集約と都市構造の転換によるコンパクト・アンド・ネットワークの都市（まち）づくり」、「こども・子育て世代が、よりよい環境の中で未来を担う人材を育むひとづくり」、「産業団地の整備や企業誘致、起業・創業促進による魅力あるしごとづくり」などの施策を戦略的に展開していきたい。公共施設の再編、

全事業総点検を通じて、持続可能な行財政体質の確立に努め、市内への定住促進など選ばれる都市、「元氣なふるさと高岡」づくりにまい進する決意である。

歴史・文化資産の活用を

問 大伴家持生誕1300年記念事業を契機とした「万葉のふるさとづくり」の今後の

展開は。

市長 平成29年度は、記念セレモニー、家持の生涯と時代に焦点を当てた演劇や企画展の開催などを通して、市民一体で家持を顕彰し記念の年を盛り上げ、万葉のふるさと高岡の魅力在市内外に広く伝えた。今後は、記念事業による家持の功績や万葉集を再評価する機運の高まりを捉え、越中国府があった伏木地区を中心に、家持が万葉集に残した自然や風土を時空を超えて追体験できる雰囲気と仕掛けづくり、市民や観光客が古の時代から連綿と受け継がれてきた短歌や万葉集の文化に親しみ、自ら創作活動に携わるこゝろができる機会づくりを進めたい。これらの取り組みを通して、全国の万葉愛好家など多くの方々に訪れてもらえるような、万葉のふるさととしての魅力に磨きをかけていきたい。

学校教育環境の充実を

問 市民創造都市高岡の未来を担う子どもたちの教育のあ

り方をどのように考えているのか、見解は。

市長 教育は「国家百年の大計」と古くから言われるように、将来を担う若者の育成は、大変重要な課題である。本市では、これまでも「ものづくり・デザイン科」の実践や「高岡の歴史文化に親しむ日」の実施など、ふるさとに誇りと愛着を育む教育を推進してきた。また、子どもの切れ目ない成長発達に目を向けることが重要と考えており、幼・保・小の連携や小中一貫教育の推進、学校を取り巻く地域総ぐるみで子どもを育む教育を着実に進めたい。現在、教育委員会では、有識者による懇談会を設置し、新たな小中連携教育や学校施設等のあり方について、幅広く意見を求めている。その提言も聞きながら、本市の未来を担う、ふるさとを愛し、創造性豊かでたくましい子どもたちの育成に向けて、教育委員会と連携を深め取り組みたい。

行財政改革の継続的推進

問 行財政改革について問う。(1)平成22年度に「全事業総点検プロジェクト」と題して実施して以来の事務事業の整理・合理化となるが、本市の

意気込みは。

(2)「(仮称)高岡市公共施設再編計画」の策定を予定しているが、現在の進捗状況は。

市長 (1)29年度において、すべての予算事業をゼロベースで見直す全事業点検を実施している。財政基盤の安定化を図るには、複数年にわたる継続的な改善に取り組むことが必要であり、30年度予算編成と並行して、「財政健全化緊急プログラム」を策定する。このプログラムは、全事業点検の検証結果をベースに、新たに公債費を抑制する観点から、新規投資的事業の計画見直しや総人件費の抑制、公共施設の再編計画等の方策を加え、可能なものは29年度から着手したい。

総務部長 (2)計画の策定に当たっては、29年4月から個々の施設のあり方を判断するための客観的な基準づくりに取り組んでおり、6月には、市民アンケートを実施し、公共施設に関する考え方を聞いたところである。これらを踏まえ、公共施設マネジメント推進委員会において検討しており、29年度末を用途に、個別施設の集約化、複合化、譲渡、廃止など、今後の方向性を示した再編計画の策定作業を進めている。



大伴家持が絶賛した美しい景勝地 雨晴海岸

個別質問

今定例会では、11人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



福井 直樹
自民同志会

新高岡駅の利用拡大を

「はくたか」速達タイプの運行増の要望や富山駅での「かがやき」の乗り換え時間の短縮化など、新幹線の速達性



新幹線の速達性と利便性のさらなる向上を

と利便性の確保に向けた取り組みを強化していくべきと考えるが、見解は。

市長政策部長 旅行エージェンツは、「はくたか」利用を前提に、新高岡駅を起点とする旅行プランを造成する傾向にあることから、「はくたか」の所要時間の短縮や停車本数の増加を要望していく必要がある。また、「つるぎ」と「かがやき」の乗継改善は、ビジネスなどでの個人旅行者の利便性をさらに高め、新高岡駅利用者への幅を一段と拡げるものと考えている。今後、「かがやき」の停車を要請する際には、新高岡駅の利用拡大に向けた効果的な運行についても、併せて要望していきたい。

コメの需給と価格の安定

副市長 国による主食用米の生産数量目標の配分政策の廃止に伴い米価の下落が懸念されるが、本市としての対応計画は。
産業振興部長 地域が一体となつて需要に応じた生産に取り組む必要があると認識している。平成30年産以降の県農業再生協議会の方針では、国

が示す需給動向を基に、地域別の生産の目安を参考値として提示し、地域協議会や各JAにおいて、自らの目標を設定し、生産者へ情報提供することとしている。地域協議会では、12月を目途に翌年産の目標を設定する予定である。

災害に強い体制づくり

副市長 局地的豪雨に伴う人的・物的被害の本市の対応状況は。また、避難勧告を受けた地域住民への対応における課題は。
副市長 平成29年7月の大雨により、市道で2路線、農地で14カ所の被害が確認されたが、現在、農地では復旧工事が完了している。市道や林道では応急復旧工事が完了し、安全を確保したが、本復旧に向けて取り組みを進めている。今回の対応では、食事管理や健康管理、避難所までの移動手段の確保など、高齢者に寄り添った避難所運営が必要であるとの課題が浮かんできた。今後は、自治会や自主防災組織などと協議を重ね、災害に強い体制づくりを進めたい。



数中 一夫
自民同志会

健全な財政運営に向けて

副市長 財政運営について問う。

(1)歳入確保について、ふるさと納税の寄附活用メニューに追加された、「藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり」の積極的なPRが必要では。
(2)今後の実質公債費比率や、将来負担比率の最大予想値は。また、将来負担比率の改善策を示すことも必要では。

市長政策部長 (1)メニューへの追加は、高岡を知り、興味を持つてもらおうとで大変効果が高いと考えている。寄附金は、藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーの企画展示の充実や広報活動に活用する予定である。今後は、全国紙のふるさと納税特集への掲載やSNSを活用したPR、高岡会やふるさと応援隊などへの周知を積極的に行っていきたい。

総務部長 (2)実質公債費比率は、平成30年度から北陸新幹線関連事業の元金償還が始まること等から今後も増加傾向にあり、公債費の抑制に努めなければ5年後には18%に近づくと思込んでいる。将来負担

担比率は、早期健全化の判断基準となる35.0%までは増加しないと思込む一方、財政調整基金等の残高の影響等で、30年度以降も増加傾向になると見込んでいる。将来負担比率の改善には、公債費の抑制や一般財源の確保等の財政健全化策が必要である。29年度に策定する「財政健全化緊急プログラム」には、全事業点検の検証結果や新規投資的事業の計画見直し、総人件費の抑制、公共施設の再編計画等を盛り込む予定である。30年度以降も継続的に財政健全化に取り組みことで、将来負担比率の改善を図りたい。

二次交通の利用促進策は

副市長 新高岡駅の活用にもつながる万葉線やわくライナーの取り組みのさらなるPRを行うとともに、世界遺産バスにインセンティブを付与してはと考えるが、見解は。

市長政策部長 世界遺産バスでは、乗車きっぷと連携した旅行商品の造成について、バスの運行を支援する県、南砺市、本市で協議することとしている。本市としては、各交通事業者が新高岡駅を起点として造成した旅行商品等について、引き続き、関係機関と連携して、周知・PRを図りたい。



吉田 健太郎
公明党

子育ての交流・相談の拠点

図 子育て支援センター設置
拡充に向けての考えは。

福祉保健部長 平成27年3月に策定した子ども・子育て支援事業計画では、市内7つの教育・保育提供区域に、それぞれ子育て支援センターを設置する予定である。今後のセンター開設には、設置場所、運営経費、職員の配置等の課題を十分に精査し、地域の実情に応じた実施方法等を研究していきたい。

快適な学習環境の構築を

図 本市の教育環境の整備について問う。

(1)普通教室へのエアコン導入に向けた計画の策定と導入実施について、見解は。

(2)いじめ・不登校対策の推進にはどのような工夫がなされているのか。

教育長 (1)近年の気候変化による夏季の気温上昇に鑑みると、子どもたちの健康保持や学習能力の向上を図る観点とともに、成長過程の全体を見通しながら、検討を進めている。

(2)これまでも学校、家庭、関係機関等が協力し、未然防止や早期発見に努めてきているが、その要因や背景は多様化、複雑化しており、対策について一層の工夫が求められている。問題解決に当たっては、児童に対して、より適切な支援を行うため、学校や児童相談所、警察、市関係課をはじめ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等、より多くの関係者に出席を依頼し、個々の事例に対しケース会議を開催している。また、29年度は、多くの中学校に配置されているスクールカウンセラーを中学校区内の小学校へも配置することで、小・中学校間の切れ目ない支援が可能となり、その効果が表れてきていると報告を受けている。



上田 武
社民党議員団

学びやすい環境の実現を

図 子育て満足度日本一を目指す本市としては、小・中学校へのエアコン設置により、学びやすい環境を早急に整備すべきと考えるが、見解は。

教育長 普通教室へのエアコン導入は、近年の気候変化による気温上昇に鑑みると、子どもたちの健康保持や学習能力向上を図る観点とともに、成長過程全体を見通しながらの検討が必要と考えている。平成28年度から各学校の普通教室における温湿度の測定調査を行い、正確な実態把握に努めている。また、有識者等の意見を聞きながら、この結果が子どもたちに与える影響や、温度調節の必要性、その時期や箇所、さらには整備費用やランニングコストなど、導入に向けた課題等について整理検討を行っていききたい。

災害への備えと防災意識

図 安心安全、災害に強いまちづくりについて問う。

(1)孤立する避難所の受け入れ態勢を確保するため、高齢者向けの非常食や断水に備えた簡易トイレを常備しては。

(2)小・中学校での非常用給食体験について、防災意識の高揚に効果があったと考えるが、子どもたちの感想とその評価は。また、今後も継続しては。

総務部長 (1)災害備蓄計画に基づき、食料や生活必需品等を、拠点避難所である各小学校に分散備蓄しており、それ以外の避難所には、必要に応じて、最寄りの拠点避難所から備蓄物資を供給することとしている。また、土砂災害により孤立の恐れのある指定避難所や開設の可能性が高い指定緊急避難場所には、カンパンや水、毛布等を予め備蓄している。今後は、高齢者も食べられる非常食の備蓄を拡充したい。また、これまで孤立の恐れのある指定避難所において、空輸を考慮して備蓄のなかつた簡易トイレも、予め備蓄対象として対処したい。

教育長 (2)子どもたちからは、「思ったよりおいしかった」「非常食の備えが必要だと思った」との感想や、避難訓練を同時に実施した複数の学校では、「防災について学んだことを家族に伝えたい」など、防災に関する意識を一層高めることができた。今後も引き続き



中川 加津代
自民同志会

日本遺産のまち高岡のPR

図 平成30年度の日本遺産サミットの高岡開催に向け、広域的な集客増につながるような取り組みを検討しては。

市長政策部長 現在、サミットの内容について文化庁や日本遺産連盟の認定団体と協議を重ねているところである。30年度には、認定団体数が70を超えることが予想され、各々の認定ストーリーを元に

き実施し、児童生徒の防災意識向上の一助としたい。



日本遺産サミットに向けて 国指定史跡・高岡城跡記念石碑

した体験型の魅力的な展示や、高岡の日本遺産をめぐるエクスカーションなどを企画し、一般の来場者に楽しんでもらえる内容としたい。また、本市に集う全国の認定団体との連携を深め、ストーリーの魅力を増大にアピールするとともに、本市の存在感を打ち出し、「日本遺産のまち高岡」の知名度を上げるよう、積極的に取り組むたい。

ふるさとギャラリーの今後

岡 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーについては、大胆なメリハリの効いた企画イベント等も行えるよう、独立した施設へ移転してはと考えるが、今後も美術館の併設施設として運営していく方針が。

市長政策部長 万葉線志貴野中学校前電停のラッピングを含めたドラえもん ترامの連携効果などの検証や、美術館との複合施設であることのメリット等を踏まえ、今後、関係者の意見も伺いながら検討していきたい。

通学路交通安全プログラム

岡 通学路交通安全プログラムには、積雪時の道路状況について記載がない。冬期間の危険箇所についても点検し、対策を講じる必要があると考

えるが、見解は。
教育長 危険箇所の点検については、学校や教育委員会、各道路管理者、警察に加え、PTAや地域の代表者も立ち会い、冬期間に予想される危険を含めて聞き取りを行っている。冬期間については、道路管理者が通常の管理を行うとともに、学校からの要望に応じて積雪時に現場確認を行い、必要な対策を講じており、翌年の見直しに反映できるように努めているところである。

今後とも学校や地域、関係機関と連携し、速やかな情報収集に努め、冬期間を含めた通学路の安全確保に継続して取り組んでいきたい。



野上 達夫
社民党議員団

高齢者にやさしいまちに

岡 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について問う。

(1)第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画では、介護ボランティアポイント制度の導入を検討することとしているが、その検討状況は。
(2)認知症高齢者と家族の支援体制づくりをどのように推進してきたのか。

(3)第7期介護保険事業計画策定の基本的な考え方は。

福祉保健部長 (1)制度の導入については、以前より検討を重ねており、課題としては、ボランティア本来の意義が薄れることや、ボランティアの登録・ポイントを管理する実施機関との調整、財源の確保などが明らかとなった。現在策定中の第7期計画では、制度の導入の有無について継続して検討していきたい。

(2)市内11カ所の地域包括支援センターに、認知症地域支援推進員を配置し、相談窓口を設け、在宅医療と介護サービスを一体的に提供できる体制を整備してきたところである。地域包括支援センターでは、認知症高齢者とその家族を支援する認知症サポーター養成講座の開催、認知症地域説明会による正しい知識の普及啓発に取り組んできた。また、本市では、家族の負担軽減と認知症の方が気軽に集うオレインジ倶楽部の開催、徘徊高齢者の早期発見のための徘徊SOS緊急ダイヤルシステムの構築等、関係機関と連携を図りながら、地域ぐるみで認知症の方や家族を支えるネットワークづくりに取り組んできたところである。

市長 (3)計画の策定に当た

り、ガイドラインとして国が示す第7期計画の基本指針も踏まえながら、高齢者の自立支援・重度化防止、病床の再編や医療ニーズの増大への対応に向けた医療・介護の一体的な取り組み推進、地域の包括的な支援体制づくりの推進、といった方向性のもとで、計画策定を進めていく考えである。第6期計画の取り組み状況の検証や高齢者の実態調査を分析し、抽出された課題に対応した施策を体制化し、第7期計画に盛り込んでいくこととしている。これらを通じて、高齢者が住み慣れた地域で生き生きと自立した暮らしを継続できるよう、計画を策定していきたい。



河川改修による浸水被害対策を



横田 誠二
自民同志会

浸水被害対策の取り組み

岡 これまでの四屋川改修に向けた議論や検討の経過と今後の方針は。

都市創造部長 四屋川流域における浸水被害の解消に向けたこれまでの検討においては、改修による断面不足の解消だけでなく、雨水管の新設や調整池の設置、既設排水路の改修による断面の拡大など、総合的に取り組む必要があるとしている。しかし、これらを実施する場合、大規模な用地買収を伴い、事業費の確保や事業期間が長期にわたるなどの課題のほか、国・県等の関係機関や地元関係者などの調整も必要となる。引き続き、これらの課題を踏まえた検討を進め、できるだけ早い時期に整備方針を決定したい。

所有者不明土地の実態把握

岡 所有者不明土地に関する問題について、市の考えと今後の対応方針は。

総務部長 この問題は、これまででも固定資産税の賦課や、用地の取得、空き地・空き家

対策などの事業において、その対応に大変苦慮している。

このような土地は、登記手続の煩雑さや費用の問題などから、今後も増加することが見込まれており、本市の事業への影響を懸念している。今後、所有者不明土地問題研究会の提言を受け、国において方針が示されると考えており、その動向を踏まえながら、適正・円滑に事業を推進できるように適切に対応したい。

伝統技術継承の拠点整備を

図 金屋鑄物師町工房（仮称）の建設目標年次と、完成後の活用方針は。

市長 この工房は、高岡鑄物産業発祥の地である金屋町において、伝統的な技術の継承や地域の活性化を目的に整備することとしており、平成29年度に設計を完了し、30年度以降の建設を目標としている。金屋町は、鑄物事業者の多様な技術の蓄積があるとともに、様々な方々が訪れ、交流できる観光資源としても優れた魅力ある場所であり、これらの特性を活かすことのできる拠点施設として、工房を活用することが重要であると考えている。今後、若い職人たちが鑄物事業者等と交流・連携することを促進し、人材育成を

図っていききたい。



石須 大雄
社民党議員団

地元で観光資源を磨く

図 伏木地区の観光について問う。

(1)勝興寺の大改修の終了に向け地元で期待することは。
(2)伏木曳山祭の棧敷席を平成30年度も設けるべきと考えるが、見解は。

教育長 (1)勝興寺の修理事業については、国・県から助成を受けるとともに、地元住民の理解のもと、多額の協力金により進めてきた。勝興寺は古くから多くの人々に親しまれ、支えられてきた。また、勝興寺が観光の拠点となること

が、これからの伏木地区一帯のまちづくりにとって大変重要と考えている。地元住民には、郷土の誇りとして、引き続き勝興寺を盛り上げてもらいたい。

産業振興部長 (2)29年度の伏木曳山祭は、棧敷席を導入して3回目となり、多数の利用客があった。実施後のアンケート結果では、9割の方から満足の評価を受けたほか、複数の首都圏旅行会社からは

「来年も是非ツアー化したい」との、ありがたい意見もあった。棧敷席の設置が各所から高い評価を受け、定着化しつつあると認識している。地元住民とともに、今後も継続して取り組んでいきたい。

子育てしやすい環境整備を

図 「子育て満足度日本一」を目指すのをやめたのか。

市長 未来の高岡を担うすべての子どもたちが健やかに成長できるように、本市では、常に「子育て満足度日本一」という理想を念頭に置き、保育料の第3子以降の無料化、子ども医療費助成の所得制限の撤廃など子育て家庭への経済的支援のほか、多様な保育サービスの実現を図ってきた。

また、保育園の新設による地域の保育需要への対応、放課後児童クラブの整備による地域と連携した児童の居場所の確保など、子育て支援施策に積極的に取り組んできた。平成28年度の子育て家庭を対象にしたアンケート調査によれば、本市で子育てをしたいと思う人は約7割となっており、一定の評価を得ている。今後

も、子ども・子育て支援事業計画に掲げる基本目標に沿って、安心して子どもを産み、育てやすい環境の実現に努め、

「子育て満足度日本一」を目指していききたい。



本田 利麻
自民同志会

コンベンション施設の整備

図 本市のコンベンション誘致について問う。

(1)文化創造都市を掲げる本市としては、市民会館に代わる施設の整備を、急ぎ検討すべきでは。

(2)県総合計画審議会の県西部地域委員会で県西部の中核施設の整備を提案したとの報道があったが、何を指すか。

市長政策部長 (1)市民会館に



コンベンション施設の整備を

については、平成29年度からホール客席のつり天井脱落防止用安全ネットの取り付けなどとしており、当面は、定期的な点検などを行いながら、現在の施設を継続使用していきたい。29年度は市民ニーズ調査を行い、芸術文化系のコンベンション誘致に求められる施設の規模及び機能の整理、類似施設とのすみ分けなども考慮しながら、芸術文化に関する創造の場について構想を固めていきたい。

副市長 (2)一つには、とやま

呉西圏域内外における交流拡大や、産業・文化の振興に寄与する、コンベンション機能などを有する広域的な県立の中核施設設置、二つには、県ものづくり研究開発センターなどが立地する二上地区において、富山大学で検討されている先端材料関連の研究センター誘致によるものづくり研究拠点の形成、三つには、県総合デザインセンターと市デザイン・工芸センターとの連携強化によるデザイン振興に寄与する拠点の形成について県総合計画への取り込みを提案したものである。

選ばれる都市づくりの推進

図 移住・定住推進室を開設

し、5カ月が経過したが、その成果は。また、今後の課題と取り組みの方針は。

市長 本市では、首都圏等への流出が顕著にみられる若者、とりわけ女性のUターンにターゲットを絞り、移住・定住の課題となる雇用や居住環境など、総合的な取り組みを重点的に進めていくこととしている。移住・定住推進室を設置した本市と、経済界や関係団体等が連携した全高岡的な取り組みを進めているところである。今後は、首都圏等からのUターン希望者の移住推進施策に注力し、市民や企業、行政などが一体となって取り組んでいきたい。



坂林 永喜
自民同志会

災害への備えと減災対策

岡 本市の安心・安全について問う。

(1)災害弱者がより身近に避難できるよう、市が避難準備場所を指定しては。
(2)地域防災の中心的役割を担う防災士の知識・技能の習得をどのように進めていくのか。
総務部長 (1)災害発生時には、迅速な避難所の開設が求めら



有事の際は迅速に避難所を開設

れており、本市では、150カ所の避難所を指定するとともに、各避難所には市職員を避難所運営要員として配置し、施設管理者と協力しながら、避難所の開設・運営に当たることとしている。また、避難時には、一時的に身近な施設に集まるケースも想定されるため、自主防災会と相談しながら、避難準備場所としての自治会公民館のあり方について工夫していきたい。
(2)本市では、養成研修講座の受講料を負担するなど積極的支援を行っており、現在、100名の防災士が市内で活躍している。また、防災士の知識・技能の向上を目的として、平成29年度から、「とやま

呉西圏域連携事業」で、6市防災士育成事業を実施し、防災士間のネットワーク構築やスキルアップを図ることとしている。29年5月には、防災士勉強会が開催され、顔の見える関係づくりを図った。30年1月には専門家の基調講演や、先進事例の発表を通して防災士のレベルの底上げを図りたいと考えている。また、野村地区において防災士会が発足されており、こうした取り組みが市内全域に波及していくことを期待している。今後も、防災士のレベルアップを進め、活躍できるよう取り組んでいきたい。

地域商品券発行の効果は

岡 中心商店街の活性化を図る中で、地域商品券の発行は有効な手段と考えるが、見解は。

産業振興部長 協同組合高岡市商店街連盟が発行する「高岡市共通商品券」は、現在、市内全域の900以上の店舗で利用できる。地域商品券は、地域通貨としての側面を持ち、会員店舗でのみ利用可能な点が、顧客の囲い込み効果をもたらすものであり、市内における消費拡大と小売商業の振興に寄与するものと考えている。



金平 直巳
日本共産党

豪雨災害に対する備えは

岡 福岡県や大分県を中心に甚大な被害があった九州北部での豪雨など、最近の豪雨災害への受け止めと対応方針は。

市長 平成29年に入って、全国で大きな豪雨災害が発生している。豪雨災害が本市においても、いつ起きるか分からない状況であり、自助（個人）・共助（地域）・公助（行政）の観点から、しっかりと対応する必要があると考えている。

自助・共助への対応としては、自主防災組織の支援、防災士の育成、出前講座の実施、総合防災訓練での避難訓練や体験訓練等を通して地域防災力の強化を図っていきたい。公助への対応としては、緊急浸水対策行動計画に基づき、河川改修、雨水幹線の整備、道路冠水対策等を確実に進めていきたい。また、全国的な豪雨災害時の対応事例を取り入れながら、速やかな情報伝達、注意喚起、そして避難情報の発令や避難所の開設を行えるよう防災体制の一層の強化を図りたい。

総合体育館の整備費削減

岡 市債残高が1100億円を突破し、公債費が年額100億円という厳しい財政状況や入札中止という事態を踏まえ、80億円に迫る総合体育館建設にかかる事業費の削減に最大限の努力が必要と考えるが、見解は。

教育長 これまでも事業費抑制の観点をもって取り組んできている。平成29年8月以来、さらに精査を進めてきており、極力、事業費を抑える努力を行っているところである。

買い物弱者への支援

岡 買い物支援活動に参画する事業者への財政支援が事業開設初年度のみのため、廃業や経営赤字に苦しむ事例が多く出ていると聞く。高まるニーズに因應するため、国や県に対し、財政支援の強化を要請すべきでは。

市長 少子高齢化、過疎化の進展や、身近な買い物品を取り扱う商店の減少等、社会構造の変化に伴う買い物弱者に対する支援は、重要な課題と認識している。国や県はそれぞれ買い物支援制度を有しているが、地域の実態や商店街の動向を踏まえ、事業者が活用しやすい制度となるよう国や県へ働き掛けていきたい。

委員会の動き

4常任委員会では、委員が次の観点に立って当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

◆路線バスは経営がかなり厳しく、これまでの運行路線の廃止等により、地域住民の足に大きく影響を及ぼしている。また、深夜労働が多く、低い賃金では運転手の確保自体が厳しい。経営状況を含めた路線バスの今後のあり方について、市としてどのような見通しを持って助成しているのか。

◆自治会公民館建設等事業費補助金が補正計上されている理由は。また、設定されている補助金額と、県内他市と比

較した場合の優位性は。併せて、近年、修繕に対して補助金を交付した件数は。

◆マイナンバーを通じて、自治体や国の機関との間で個人情報やりとりできる情報提供ネットワークシステムの試行運用が始まったが、中央省庁の段階においてもトラブル



高岡市民病院認知症疾患医療センター開所式

が頻発し、根本的に解決されないまま、新たに独自利用事務を追加する条例改正は適切ではないと考えるが、見解は。

○民生病院常任委員会

◆放課後児童クラブの運営は、各地域の運営協議会に委託しているが、各地域でどのような差異があるのか。また、場合によっては、協議会に適切な指導をするなど、積極的に関わっては。

◆不燃焼物処理場管理事業費に100万円が補正計上されているが、同処理場での直近5年間の修繕の状況はどのようなになっているのか。

◆救急外来改修事業費に約2850万円が補正計上されているが、どのように救急外来の機能を向上させるのか。また、セキュリティの向上とし

ては、防犯カメラの設置などが考えられるが、見解は。

○経済消防常任委員会

◆野菜生産振興事業費に1017万円が補正計上されているが、その生産野菜の生産高、売上高の実績及び野菜品目はどのようなになっているのか。また、本事業の具体的な目標の達成時期は。

◆現時点で消防法令に違反する建物は何件か。また、違反のある建物関係者に対する措置は、建物の名称や違反内容などの公表だけなのか。

○建設水道常任委員会

◆除雪対策事業費に関連して、路面が圧雪状態になる前の除雪対応が重要と考えるが、明け方からの降雪にかかる除雪出動の判断についての見解は。

12月定例会の予定

12月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、11月24日開催予定の議会運営委員会で決定されます。

- 4日 11時 議員協議会
- 13時 本会議(提案理由説明)
- 7日 10時 本会議(代表質問)
- 11日 10時 本会議(一般質問(一括))
- 12日 10時 本会議(一般質問(一括))
- 13日 10時 議会運営委員会
- 14日 10時 本会議
(一般質問(一問一答))
- 15日 9時 代表者会議
- 10時 民生病院常任委員会
- 13時 産業建設常任委員会
- 18日 10時 議会運営委員会
- 13時 総務文教常任委員会
- 20日 9時30分 委員長会議
- 10時 議会運営委員会
- 11時 議員協議会
- 13時 本会議(議案など議決)

臨時会の予定

任期満了に伴う高岡市議会議員選挙が10月22日に執行されたことに伴い、新たな、高岡市議会の構成を決めるため、臨時会が11月下旬に開催される予定です。正式に決まり次第、公共施設への掲示や市議会ホームページ等で、お知らせします。詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本会議	委員会
28年12月	88人	4人
29年 3月	42人	2人
29年 6月	29人	7人
29年 9月	26人	1人

編集後記

◆土木施設災害復旧事業費が補正計上されているが、平成29年7月の豪雨によって被災した市道の復旧状況は。

今任期中、最後の定例会となりました。個別質問の折に、そのことに触れる議員もおりましたが、ここでは議会がこの4年間で取り組んできた中での特筆すべき事項について、述べます。

高岡市議会では、県内で2番目となる議会基本条例を制定済みでしたが、その趣旨に基づき「議会報告会」を2回開催しました。特に、平成29年5月25日は、政務活動費を厳格に運用するよう改めた議会改革検討委員会の検討結果を交えた報告会としました。

また、今定例会で議員提出による「高岡市商店街の活性化に関する条例」を県内で初めて制定しました。今後とも、「二元代表制」に恥じない、活発で開かれた議会を目指してまいります。

(福井記)

★編集委員

◎狩野、○福井、中川、坂林、野上、吉田、本田

(◎委員長 ○副委員長)